

東大阪市学校施設長寿命化計画

令和2年3月

(令和6年3月一部改定)

東大阪市教育委員会

目 次

第1章 計画の概要	1
1. 計画策定の背景と目的	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画期間	1
4. 対象施設	2
第2章 学校施設のめざすべき姿	3
1. 安全・安心な施設づくり	3
2. 良好な学習環境の確保	3
3. 防災機能の強化	3
第3章 学校施設の現状	4
1. 園児・児童・生徒数の推移	4
2. 学校施設の保有状況	5
3. 工事請負費の推移	9
4. 老朽化の状況	10
5. 今後の建替え・改修コストシミュレーション	11
第4章 学校施設整備の基本方針	12
1. 学校施設長寿命化計画の基本方針	12
2. 長寿命化の方針と整備内容	13
3. 長寿命化による効果	13
第5章 学校施設長寿命化計画の継続的運用	14
1. 情報の収集と活用	14
2. 推進体制の考え方	14
3. 継続的な見直し	14
4. 財源の確保	14
5. 施設一体型義務教育学校の検討	14
用語集	15

第1章 計画の概要

1. 計画策定の背景と目的

東大阪市（以下「本市」という。）の学校施設は、昭和40年代から50年代の前半にかけて、急激な人口増加に伴う児童・生徒の増加にあわせて集中整備しました。現在、集中整備した学校施設は老朽化が進み、大規模な改修や建替えを検討する必要があります。それには多額の費用が必要になるため、本市にとって大きな課題となっています。

東大阪市学校施設長寿命化計画（以下「本計画」という。）は、この課題を踏まえ、学校施設を安全にできるだけ長く活用し、ライフサイクルコスト^{注1}の縮減と支出の平準化を図ることを目的とします。

2. 計画の位置づけ

本計画は、東大阪市公共施設等総合管理計画（平成27年12月策定、令和5年3月改定）を上位計画とし、学校施設を対象にした整備計画を定めます。なお、上位計画である東大阪市公共施設等総合管理計画の改定に伴い、本計画の一部を改定しました。

3. 計画期間

本計画の期間は、令和2年度から令和16年度までの15年間とします。

4. 対象施設

本計画は、市立の小学校・中学校・義務教育学校・幼稚園・幼稚園型認定こども園・高等学校を対象とします。

表 1 対象施設

小学校		中学校	義務教育学校
縄手小学校	荒川小学校	縄手中学校	くずは縄手南校※ ¹
縄手北小学校	長堂小学校	枚岡中学校	池島学園※ ¹
枚岡東小学校	高井田東小学校	石切中学校	
枚岡西小学校	森河内小学校	縄手北中学校	
石切小学校	高井田西小学校	孔舎衛中学校	
孔舎衛小学校	楠根小学校	盾津中学校	幼稚園
上四条小学校	意岐部小学校	玉川中学校	枚岡幼稚園
縄手東小学校	小阪小学校	英田中学校	石切幼稚園
孔舎衛東小学校	上小阪小学校	花園中学校	若江幼稚園
石切東小学校	弥刀小学校	盾津東中学校	英田幼稚園
成和小学校	長瀬北小学校	若江中学校	幼稚園型認定 こども園
北宮小学校	長瀬東小学校	長栄中学校	
弥栄小学校	八戸の里小学校	新喜多中学校	
玉川小学校	長瀬南小学校	金岡中学校	北宮こども園
玉美小学校	弥刀東小学校	上小阪中学校	岩田こども園
英田北小学校	長瀬西小学校	楠根中学校	高等学校
若江小学校	楠根東小学校	意岐部中学校	
花園小学校	柏田小学校	高井田中学校	日新高等学校
鴻池東小学校	西堤小学校	小阪中学校	
玉串小学校	意岐部東小学校	長瀬中学校	
岩田西小学校	八戸の里東小学校	弥刀中学校	
英田南小学校	藤戸小学校	柏田中学校	
加納小学校	大蓮小学校	布施中学校	
花園北小学校	桜橋小学校		
	布施小学校		

※¹ 本計画では、義務教育学校の前期課程は（前）、後期課程は（後）と省略して表記します。

なお、校舎等は、2階建て又は平屋で200㎡以上を本計画の対象とし、小規模な倉庫等は対象外とします。

第2章 学校施設のめざすべき姿

1. 安全・安心な施設づくり

学校施設は、将来を担う児童・生徒の生活の場として、安全・安心な施設環境を提供することが重要です。

本市では、既に学校校舎や体育館の耐震化を完了していますが、今後は老朽化への対応として外壁や屋上防水の改修に加え、不具合が生じた際に学校運営に重大な支障を及ぼす可能性のある設備の改修を進める等、安全・安心な学校施設の整備を行っていく必要があります。

2. 良好な学習環境の確保

学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす重要な場所であり、誰もが快適に学校生活を送れるよう良好な学習環境を提供することが重要です。

本市では、教室への空調整備、トイレの洋式化、多目的トイレの設置、LED照明の導入等に取り組んできましたが、児童・生徒が快適に過ごせるよう、今後も学習環境の向上に努める必要があります。

3. 防災機能の強化

小学校、中学校及び義務教育学校は、災害時の一次避難所として指定されており、災害発生時は重要な役割を担うことから、防災機能を強化していくことが重要です。

本市では、体育館への空調整備に取り組んでいますが、今後も防災機能の強化に努める必要があります。

第3章 学校施設の現状

1. 園児・児童・生徒数の推移

(1) 小学校児童数の推移

小学校（義務教育学校（前期課程）含む）の児童数は、令和元年5月1日現在、22,313人となっており、ピークであった昭和54年の57,431人の38.9%となっています。また、今後の推計も減少傾向となっており、令和7年には20,000人を切る推計となっています。

(2) 中学校生徒数の推移

中学校（義務教育学校（後期課程）含む）の生徒数は、令和元年5月1日現在、10,876人となっており、ピークであった昭和60年の27,249人の39.9%となっています。また、今後の推計も減少傾向となっており、令和6年には10,000人を切る推計となっています。

(3) 幼稚園・認定こども園の園児数の推移

幼稚園及び認定こども園の園児数は、令和元年5月1日現在、688人となっています。本市では、平成元年から4歳児も入園しており、単純に比較することは出来ませんが、この園児数は、ピークであった昭和51年の4,673人の14.7%となっています。

(4) 高等学校生徒数の推移

高等学校の生徒数は、令和元年5月1日現在、800人となっており、ピークであった昭和63年の1,387人の57.7%となっています。

2. 学校施設の保有状況

(1) 保有状況

本市には、小学校 49 校、中学校 23 校、義務教育学校 2 校、幼稚園・幼稚園型認定こども園 6 園、高等学校 1 校の合計 81 校園の学校施設があります。本計画の対象施設となる小学校（義務教育学校（前期課程）含む）の延床面積は 291,047 m²、中学校（義務教育学校（後期課程）含む）の延床面積は 162,750 m²、幼稚園・幼稚園型認定こども園の延床面積は 4,148 m²、高等学校の延床面積は 14,054 m²となり、全ての学校施設を合計した本計画の対象施設となる延床面積は 471,999 m²となります。

本市には、小学校、中学校及び幼稚園がそれぞれ最大 54 校、26 校及び 28 園ありましたが、規模の適正化や再編整備を進め、現在の校園数となっています。

表 2 学校施設の保有状況

名称	住所	延床面積 (m ²)	建築年度	園児・児童・生徒数 (人)	学級数 (学級)		
					学級数	支援学級数	
1	縄手小学校	東大阪市南四条町 3-2	5,441	S37	274	11	5
2	縄手北小学校	東大阪市旭町 2-4	4,987	S40	230	9	3
3	枚岡東小学校	東大阪市立花町 12-28	4,185	S37	485	16	4
4	枚岡西小学校	東大阪市南荘町 2-26	6,079	S38	727	22	7
5	石切小学校	東大阪市中石切町 1-6-50	6,100	S11	791	24	9
6	孔舎衛小学校	東大阪市日下町 6-3-6	6,166	S35	550	17	6
7	上四条小学校	東大阪市上四条町 14-25	5,038	S48	294	12	3
8	縄手東小学校	東大阪市河内町 2-6	5,296	S52	384	12	5
9	孔舎衛東小学校	東大阪市日下町 7-1-7	4,699	S54	386	12	3
10	石切東小学校	東大阪市上石切町 2-8-30	4,858	S56	511	17	4
11	成和小学校	東大阪市南鴻池町 1-3-18	9,473	S39	1,139	33	6
12	北宮小学校	東大阪市川田 2-3-7	5,414	S40	563	18	5
13	弥栄小学校	東大阪市本庄 1-8-2	4,980	S47	462	15	5
14	玉川小学校	東大阪市稲葉 1-12-1	5,049	S43	465	14	4
15	玉美小学校	東大阪市瓜生堂 1-6-1	4,104	S37	316	11	3
16	英田北小学校	東大阪市松原 1-1-27	6,465	S36	787	23	7
17	若江小学校	東大阪市若江南町 2-9-54	5,793	S37	598	18	6
18	花園小学校	東大阪市花園本町 2-7-41	5,547	S35	274	11	3

19	鴻池東小学校	東大阪市東鴻池町 5-7-20	6,625	S46	482	16	4
20	玉串小学校	東大阪市玉串町西 2-4-12	5,649	S47	407	13	5
21	岩田西小学校	東大阪市岩田町 5-12-27	6,571	S49	558	19	7
22	英田南小学校	東大阪市吉田 5-15-16	6,674	S50	565	19	6
23	加納小学校	東大阪市加納 3-6-8	5,928	S52	653	19	7
24	花園北小学校	東大阪市花園本町 1-3-29	5,100	S55	239	8	4
25	荒川小学校	東大阪市荒川 3-23-7	4,463	S31	385	12	5
26	長堂小学校	東大阪市長堂 1-17-8	3,951	S34	282	11	2
27	高井田東小学校	東大阪市長栄寺 15-26	5,421	S40	536	17	6
28	森河内小学校	東大阪市森河内東 1-32-24	5,476	S34	611	19	6
29	高井田西小学校	東大阪市高井田本通 6-1-7	4,044	S42	185	8	2
30	楠根小学校	東大阪市稲田本町 1-1-43	5,481	S31	535	16	8
31	意岐部小学校	東大阪市新家 2-11-52	5,929	S54	288	12	5
32	小阪小学校	東大阪市中小阪 1-21-15	4,348	S32	320	12	5
33	上小阪小学校	東大阪市上小阪 3-15-40	6,214	S32	521	17	7
34	弥刀小学校	東大阪市友井 1-1-37	5,151	S32	303	12	5
35	長瀬北小学校	東大阪市吉松 2-13-15	7,105	S31	207	8	2
36	長瀬東小学校	東大阪市大蓮東 2-12-8	5,126	S37	179	6	3
37	八戸の里小学校	東大阪市下小阪 5-3-5	5,524	S41	416	12	6
38	長瀬南小学校	東大阪市大蓮北 4-3-51	6,565	S41	210	8	3
39	弥刀東小学校	東大阪市友井 2-28-12	5,490	S42	328	12	5
40	長瀬西小学校	東大阪市衣摺 5-8-51	5,210	S42	242	8	3
41	楠根東小学校	東大阪市七軒家 17-33	5,381	S44	642	20	6
42	柏田小学校	東大阪市柏田西 3-7-44	5,672	S45	191	8	3
43	西堤小学校	東大阪市西堤学園町 2-6-14	7,080	S46	480	14	5
44	意岐部東小学校	東大阪市荒本西 1-3-46	11,935	S50	163	6	3
45	八戸の里東小学校	東大阪市中小阪 5-17-8	4,948	S54	466	16	5
46	藤戸小学校	東大阪市藤戸新田 1-3-45	4,974	S56	323	12	4
47	大蓮小学校	東大阪市大蓮南 5-8-50	5,807	S48	324	12	6
48	桜橋小学校	東大阪市菱屋西 4-10-7	5,846	S40	413	12	5
49	布施小学校	東大阪市寺前町 2-1-6	4,428	S32	343	12	7
1	くすは縄手南校（前）	東大阪市六万寺町 2-3-17	6,908	S42	719	21	6
2	池島学園（前）	東大阪市池島町 3-6-30	6,349	S46	561	18	5
小学校 計			291,047		22,313	730	249
1	縄手中学校	東大阪市南四条町 3-26	5,682	S40	266	8	3

2	枚岡中学校	東大阪市箱殿町 8-25	6,097	S37	657	18	5
3	石切中学校	東大阪市中石切町 4-10-3	6,357	S35	661	18	5
4	縄手北中学校	東大阪市河内町 1-1	5,869	S50	274	8	3
5	孔舎衛中学校	東大阪市善根寺町 1-6-1	6,339	S55	502	14	4
6	盾津中学校	東大阪市新庄南 1-33	8,624	S39	999	25	6
7	玉川中学校	東大阪市岩田町 1-16-1	5,963	S35	537	15	5
8	英田中学校	東大阪市吉田本町 1-6-10	7,368	S46	701	19	4
9	花園中学校	東大阪市玉串町西 1-4-52	6,896	S37	494	13	4
10	盾津東中学校	東大阪市川田 3-2-26	6,029	S53	590	15	6
11	若江中学校	東大阪市若江南町 5-1-10	6,502	S54	478	12	6
12	長栄中学校	東大阪市長栄寺 12-30	5,570	S36	357	9	5
13	新喜多中学校	東大阪市新喜多 2-5-32	6,626	S34	416	12	6
14	金岡中学校	東大阪市金岡 1-23-9	6,542	S35	169	6	2
15	上小阪中学校	東大阪市上小阪 2-6-5	6,681	S29	379	11	3
16	楠根中学校	東大阪市稲田本町 2-6-34	6,806	S35	517	14	2
17	意岐部中学校	東大阪市御厨東 2-9-45	8,602	S32	280	9	4
18	高井田中学校	東大阪市高井田中 5-2-5	5,444	S31	337	9	3
19	小阪中学校	東大阪市宝持 1-7-5	6,775	S43	509	14	5
20	長瀬中学校	東大阪市大蓮北 4-7-43	6,615	S40	299	9	5
21	弥刀中学校	東大阪市近江堂 3-4-27	5,973	S45	302	9	3
22	柏田中学校	東大阪市柏田西 3-11-28	5,817	S49	190	6	3
23	布施中学校	東大阪市荒川 2-32-40	7,423	S40	337	9	4
1	くすは縄手南校（後）	東大阪市横小路町 3-12-5	6,808	S61	389	10	4
2	池島学園（後）	東大阪市池島町 3-10-1	5,342	S52	236	7	2
中学校 計			162,750		10,876	299	102
1	枚岡幼稚園	東大阪市箱殿町 8-10	841	S41	119	4	
2	石切幼稚園	東大阪市中石切町 2-2-25	715	S49	70	3	
3	若江幼稚園	東大阪市若江北町 3-3-16	614	S33	53	2	
4	英田幼稚園	東大阪市吉田 4-5-37	409	S40	71	3	
幼稚園 計			2,579		313	12	
1	北宮こども園	東大阪市川田 2-5-4	604	S53	109	5	
2	岩田こども園	東大阪市岩田町 6-4-43	965	H6	67	3	
幼稚園型認定こども園 計			1,569		176	8	
1	日新高等学校	東大阪市日下町 7-9-11	14,054	S48	800	21	
高等学校 計			14,054		800	21	

※データは全て令和元年5月1日現在です。

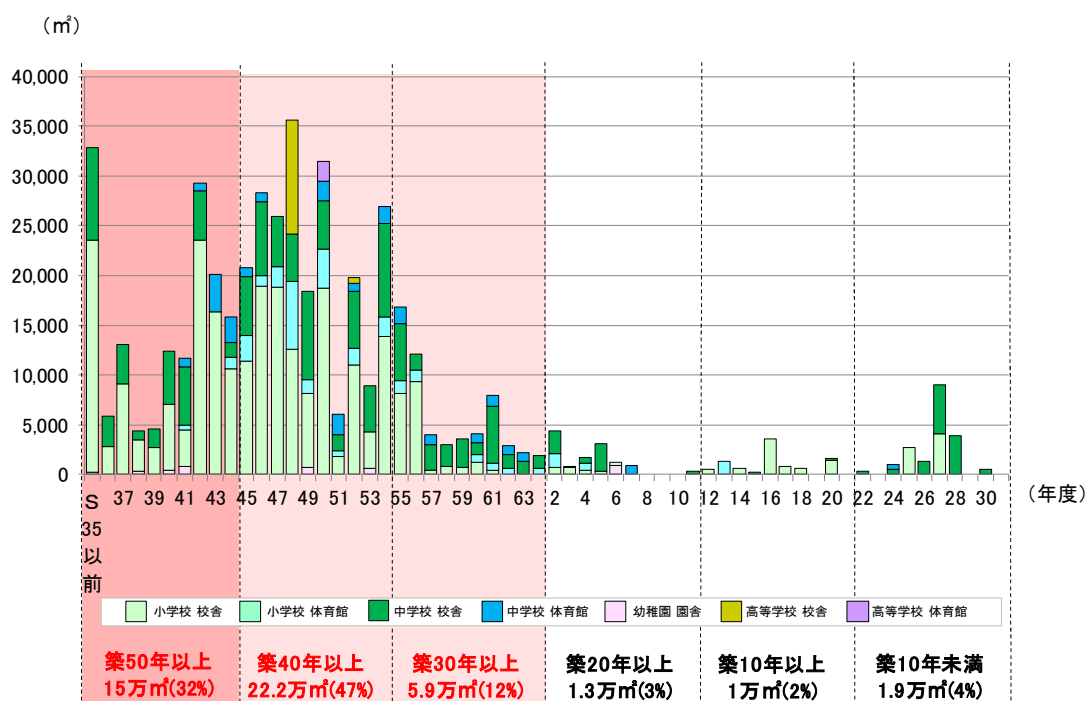
※建築年度は、最も古い建物の建築年度を採用しています。

(2) 築年別整備状況

本計画の対象施設は、築30年以上が398棟、43.1万㎡(91.3%)、また築40年以上が333棟、37.2万㎡(78.9%)となっており老朽化が進んでいます。

本市は、これまで学校施設の耐震化や空調設備の整備、トイレの洋式化等に取り組んできましたが、老朽化対策以外を主に行ってきたため、雨漏りの発生や外壁の劣化、電気設備等の劣化も進んでいます。

図1 築年別整備状況



※データは全て令和元年5月1日現在です。

3. 工事請負費の推移

本市の学校施設に係る工事請負費の決算額は、平成26年度から30年度で合計59.1億円であり、年平均11.8億円となっています。なお、この決算額には、学校統合、幼稚園型認定こども園整備及び耐震化事業等は除きます。

表3 工事請負費の推移 (単位：千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	計
小学校	939,681	1,052,958	959,190	316,954	395,120	3,663,903
中学校	541,463	412,927	702,015	196,312	206,739	2,059,456
高等学校	19,593	14,459	12,159	12,788	12,809	71,809
幼稚園	32,510	31,862	16,267	26,466	8,057	115,163
幼稚園型認定こども園	0	0	0	3,534	0	3,534
合計	1,533,247	1,512,206	1,689,632	556,054	622,725	5,913,864

※四捨五入のため、計、合計が合わない部分があります。

4. 老朽化の状況

学校施設の老朽化の状況は、主に外壁と屋根・屋上の状況の評価し、把握をします。その評価基準は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月、文部科学省）」を参考とし、以下の通りとします。

表 4 外壁、屋根・屋上 評価基準

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化
C	広範囲に劣化
D	早急に対応する必要がある

なお、外壁と屋根・屋上の劣化状況（令和元年 12 月現在）は、延床面積の割合で示すと以下の通りとなります。

表 5 劣化状況の割合

	A	B	C	D	合計
外壁	11.2%	11.4%	66.6%	10.8%	100%
屋根・屋上	23.4%	12.4%	55.9%	8.3%	100%

5. 今後の建替え・改修コストシミュレーション

(1) 建替えを基本としたシミュレーション

本市の学校施設は、「第3章 2. 学校施設の保有状況」の通り、延床面積が47.2万㎡あり、その内37.2万㎡が築40年以上となっています。

この築40年以上を経過した37.2万㎡を築60年で建替えるとした場合、今後20年間で順に建替える必要があり、近年の実績を基に建替え工事費を算出すると、総額約1,488億円、毎年約74.4億円が必要となります。

この工事費は、「第3章 3. 工事請負費の推移」の直近5年間の工事請負費の平均の約6.3倍となり、建替えを中心とした整備を進めていくことは、予算的にみて、現実的ではないと考えます。

(2) 改修を基本としたシミュレーション

学校施設は、築60年で建替えるのではなく、出来るだけ長く使い続ける必要があるため、前述の想定額約1,488億円の6割程度の工事費を投じ、20年間で建物の内外部全てを改修していく費用を算出すると、総額約892.8億円、毎年44.6億円が必要となります。

この工事費は、「第3章 3. 工事請負費の推移」の直近5年間の工事請負費の平均の約3.8倍となり、改修を中心とした整備であったとしても、これまでの工事請負費との乖離が非常に大きいことがわかります。

(3) 考察

学校施設の老朽化への対応は、出来るだけ長く使い続けることを基本としながら、学校運営に必要な改修部位を抽出するとともに、改修内容や優先順位等さらなる工夫が必要になってきます。

第4章 学校施設整備の基本方針

1. 学校施設長寿命化計画の基本方針

東大阪市公共施設等総合管理計画の「施設類型ごとの管理に関する基本方針」等を踏まえ、本計画においては、以下の5つを基本方針とします。

(1) 適正な維持管理による長寿命化の実現

- ・学校施設の建替えに係る財政負担を軽減し、環境負荷を低減させるため、「使える施設はできるだけ長く使い続ける」という考えのもと、学校施設を長寿命化します。
- ・安全で快適な学校施設を維持するため、定期的な点検等により学校施設の情報を十分に把握、蓄積し、これまでの「事後保全^{注2}」での対応ではなく、「予防保全^{注3}」の考え方を取り入れ、計画的に改修を行い、財政負担の平準化を図ります。

(2) 社会情勢の変化を踏まえた施設の総量縮減

- ・効率的・効果的に整備するため、児童・生徒数及びクラス数等を施設の規模と比較して、余裕がある学校は、校舎の一部を除却する等総量の縮減に努めます。
- ・学校施設内に余裕教室等がある場合は、今後必要となる留守家庭児童育成クラブ室等を既存校舎内に収容できるよう検討します。

(3) 民間との連携による効率的・持続可能なサービスの提供

- ・財政負担の縮減やサービスの向上を図るため、設備等を含めた学校施設の整備は、民間の資金やノウハウを活用する民間活力の導入を検討します。
- ・将来的な学校施設の総量を見越し、施設整備にあたってはリース方式等民間活力の活用を検討します。

(4) バリアフリー化の推進

- ・誰もが安全で快適に過ごせるよう、既存校舎等のバリアフリー化に努めます。
- ・新たな施設整備にあたっては、エレベーターの設置等更なるバリアフリー化を検討します。

(5) 環境負荷の低減

- ・温室効果ガス排出量の削減等のため、既存校舎内の照明LED化に努めます。
- ・新たな施設整備にあたっては、太陽光発電設備の設置や建築物のZEB化を検討します。

2. 長寿命化の方針と整備内容

(1) 長寿命化の方針

学校施設の中長期的な維持管理や建替え等にかかるトータルコストの縮減及び予算の平準化を図るため、適切な時期に改修を実施することを前提に、校舎等の建築物の目標耐用年数を概ね80年と設定します。

(2) 整備内容

学校施設の整備は、外壁や屋根・屋上の防水改修等、単に不具合を改善するだけでなく、不具合が生じた際に学校運営に重大な支障を及ぼす可能性のあるライフライン等の更新を含めることで、学校施設の長寿命化を図ります。また、児童数の増加に対応するための校舎の増築や、教室数に余裕がある学校の校舎の一部除却を行います。

<長寿命化改修>

建築	外壁	電気設備	受変電設備	機械設備	給水設備
	屋根・屋上 防水		自動火災 報知設備		消火栓設備
	防火戸		放送設備		ガス設備

<増築・除却>

増築	除却
----	----

また、建物内部等についても、安全で快適な学習環境を確保するため、必要な改修を実施します。なお、長寿命化改修及び建物内部等改修の詳細な整備内容は、東大阪市学校施設長寿命化計画実施計画において示します。

3. 長寿命化による効果

学校施設の長寿命化を図ることで、「安全・安心な施設づくり」、「良好な学習環境の確保」、「防災機能の強化」に加えて、以下のように「資産の有効活用」、「財政面への配慮」、「環境への配慮」等様々な効果が期待できます。

資産の有効活用	・ 今ある建物を出来るだけ長く使う
財政面への配慮	・ 建替えに比べて工事費を縮減できる ・ 計画的に実施することで、予算の平準化を図ることができる
環境への配慮	・ 建替えに比べて廃棄物を少なくできる

第5章 学校施設長寿命化計画の継続的運用

1. 情報の収集と活用

これまで同様、各種法定点検を実施するとともに、日常、学校施設を管理する学校教職員とも連携を図りながら、学校施設の状態の把握に努めます。

また、法定点検等の結果の一元化及びデータベース化は、先進的な取り組みを調査し、その効果を確認した上で、導入を検討します。

2. 推進体制の考え方

本計画は、教育委員会が中心となって推進しますが、東大阪市公共施設等総合管理計画等、市全体の計画との連携、調整を図ります。

また、本計画の実施にあたっては、学校運営への影響を最小限にとどめるため、学校教職員等との情報の共有に努めます。

3. 継続的な見直し

本計画は、15年間の計画とします。ただし、学校教育を取り巻く環境の変化や児童・生徒数の推移、社会情勢の変化等に対応する必要がある場合は、本計画を見直します。

4. 財源の確保

本計画の実施にあたっては、多額の財源を要することから、文部科学省の交付金や本市にとって有利な地方債等、国の動向を注視し、財源の確保に努めます。

5. 施設一体型義務教育学校の検討

本計画では、学校施設を長く使い続けることを基本方針としていますが、小中一貫教育に関連し、施設一体型義務教育学校の設置についても併せて検討します。

用語集

注1 ライフサイクルコスト

建物を企画・設計・建築し、その建物を維持管理して、最後に解体・廃棄するまでの、建物に要する費用の総額のこと。

注2 事後保全

施設に不具合が生じてから対応すること。

注3 予防保全

定期的な点検等の結果に基づき、長期的な視点に立って改修を行うこと。

